

# ありがとう 岡谷小

## ～Hearts one 便り～

岡谷小学校統合企画通信

平成27年5月11日(月)

No. 1 文責 竹内

### 三校合同遠足

「みんなとすぐに仲良くなれました。一緒になるのが楽しみです」(2年生)

「初めて会う人もいて緊張するけれど、一緒に遊べてうれしい」(3年生)

三校合同遠足での子どもたちの語りです。また、遠足を終えての日記に、他校の友達の優しさや雰囲気に触れて、新しい学校がとても楽しみになったと期待感を綴った子もいました。ここに表れている子どもたちの思いは、単に隣接校同士が行う一過性の交流から生じたものではなく、現実統合を目の前にしたその子その子の生の感覚ではないのでしょうか。子どもたち自身が、自分たちの未来をよりよいものにしたいと願う、歩を進めようとしている姿であるように思うのです。そんな子どもたちと今を共にし、手を携えて歩む教師でありたいと願う中で、こんなエピソードがありました。5年生の遠足、立石公園にて、諏訪の平を一望しながら、三校の子どもたちが交流を行いました。その時間のイニシアチブをとったのは岡谷小の松澤先生、交流の内容は仲間づくりゲームの『猛獣狩り』です。元気のよい掛け声とともに、動物の名前を言って、その文字数(ライオンなら4文字なので4人組をつくる)の子どもたちで集まり、自己紹介をするという流れです。張りのある松澤先生の声に呼応し、はじめは緊張気味だった子どもたちも、どんどん打ち解けて仲間づくりをしていきました。すると、松澤先生と一緒に岡谷小の男の子たちが、体一杯で踊りながら掛け声をかけて盛り上げるのです。春の立石公園が、その陽気以上に暖かくなった瞬間でした。帰校後(竹内はその日、田中小学校に帰校しました)、一緒に5年生についていった藤森先生(田中小養護教諭)が私に言うのです。「猛獣狩り、とっても新鮮でした。田中小にはない雰囲気でした。岡谷小の子どもたちの盛り上げもすごいと思ったけど、先生もすごいですね。本当に新鮮でした」。そうしみじみ語る藤森先生の言葉を聞いて、「そういうことか」と思いました。この統合をきっかけに、目の前の扉を開けるのは子どもたちだけではないと。先生たちにとっても、これは子どもたちと共に自己を耕す機会なんだと感じたのです。この統合は、これからの子どもたちに、教師に、地域に、そして、この先の岡谷に光を照らすチャンスであることを、子どもたちの活動の様子から確信しました。



裏面へ...

# 活動ダイジェスト

## 思い出の桜を植える会

4月9日（木）の朝の活動の時間に、「思い出の桜を植える会」を行いました。この地に思い出の桜が根付くようにと、北庭に桜の苗を植えました。各クラスの代表2名が出て、準備してあった窪みに苗を入れ、土をかけていきました。会を進行していた花岡副会長の、「今日、植えた桜が、大きく育つといいですね」という言葉に、岡谷小最後の一年を大切に過ごしていきたいという思いの強さを感じました。



## 三校あかしあ交流会

4月23日（木）に、岡谷小のあかしあ学級、田中小のたんぽぽ学級、ひまわり学級、神明小のわくわく学級、すくすく学級、あおぞら学級との交流会を行いました。場所は岡谷小の北体育館とアスレチックです。季節は丁度、桜の頃です。アスレチックに足を踏み入れた田中小と神明小の子どもたちと先生方から、「うわあ〜」と感嘆の声が漏れました。PTAの皆さんが常に手を入れて整備をしてくださっている魅力的なアスレチック施設、そして、そこから見下ろす岡谷小の学び舎と崖下に望む秀麗の諏訪湖に圧倒されての「こと」でした。交流会に参加した田中小の子は、「アスレチックは、はじめは怖くてなかなかできなかったけど、思い切って上に上れてうれしかった」と振り返っていました。また、先生方からは、「年度当初の早い時期で、大きな準備をして臨んだわけではなかったが、まずはやろうということで思い切ってやった。それがよかったと思う」という声を聞きました。今後、岡谷小の子どもたちが、それぞれの通うことになる田中小と神明小を訪れる機会も大切ですが、田中小と神明小の子どもたちも岡谷小に来て、岡谷小の自然と息吹を感じるということが、お互いの日常を知る上で大切なことだなと感じました。

## ◇連絡とお願い◇

### ○航空写真の撮影について

5月15日（金）[雨天：22日（金）]に、閉校に伴う航空写真撮影を行います。

撮影時間は10：35です。全校の子どもたちが、「ありがとう」の人文字をつくります。そこから3m離れた所に職員が並びます。ご希望の保護者の皆様は、子どもたち、職員と共に加わっていただければと思います。尚、以下のことをお願いします。

- ・撮影開始は10：35です。15分前にはお越しください。
- ・整列位置は職員と同じ場所です。
- ・車でのご来校はご遠慮ください。

親も教師も学校も地域も、みんな子どもをよくしたいと願っています。そして、何より、子どもたち自身がよりよい自分でありたいと願っています。その中で、自己を思いやり他者を思いやり、多くの愛が行き交います。やはり、教育の根底は愛です。『星の王子さま』の作者、サン・テグジュペリは、「愛とは、お互いを見つめ合うことではなく、ともに同じ方向を見つめることである」と言っています。常に子どもと同じ岸に立って、子どもたちと共に対象を見つめていけるような、学校であり、地域であり、自身でありたいと思う次第であります。

# Hearts one 便り

田中小学校統合企画通信  
平成27年5月20日(水)  
No. 1 文責 竹内

## 三校合同遠足

『遠足』 5年生 Aさん

田中小、神明小、岡谷小の三校いっしょに遠足をやりました。立石公園までの道のりはものすごくつかれてへトへトになりました。立石公園には八重桜がさいていて、とてもきれいでした。わたしのはとこが岡谷小の子なので、いっしょに遊びました。大きなすべり台をたくさんすべって楽しかったです。お昼は立石公園を下っていった所で食べました。その後、同じグループで仲よくなった女の子といっしょに遊びました。いろんな女の子たちと仲よくなって四人くらいで遊びました。最後に白鳥丸に乗って帰りました。たくさん岡谷小の子と仲よくできてよかったです。7月にあるキャンプが楽しみです。

武居先生：たくさん友だちができたね！「もうじゅうがり」の時は、どうなるやらと思いましたが…（笑） すごいぞ！

三校合同遠足後の5年生のAさんの日記です。また、他校の友達の優しさや雰囲気に触れて、新しい学校がとても楽しになったと期待感を綴った子もいました。このような子どもたちの思いは、単に隣接校同士が行う一過性の交流から生じたものではなく、現実に統合を目の前にしたその子その子の生の感覚ではないのでしょうか。子どもたち自身が、自分たちの未来をよりよいものにしたいと願い、歩を進めようとしている姿であるように思うのです。そんな子どもたちと今を共にし、手を携えて歩む教師でありたいと願う中で、こんなエピソードがありました。5年生の遠足、立石公園にて、諏訪の平を一望しながら、三校の子どもたちが交流を行いました。その時間のイニシアチブをとったのは岡谷小の松澤先生、交流の内容は仲間づくりゲームの『猛獣狩り』です。元気のよい掛け声とともに、動物の名前を言って、その文字数（ライオンなら4文字なので4人組をつくる）の子どもたちで集まり、自己紹介をするという流れです。張りのある松澤先生の声に呼応し、はじめは緊張気味だった子どもたちも、どんどん打ち解けて仲間づくりをしていきました。すると、松澤先生と一緒に岡谷小の男の子たちが、体一杯で踊りながら掛け声をかけて盛り上げるのです。春の立石公園が、その陽気以上に暖かくなった瞬間でした。帰校後、5年生を引率した3人（保健室の藤森先生と私と担任の武居先生）で、こんな話をしました。「猛獣狩り、とっても新鮮でした。田中小とはまた違った雰囲気でした。岡谷小の子どもたちの盛り上がり方もすごいと思ったけど、先生のノリもすごいですね。本当に新鮮でした」。そうしみじみ語る藤森先生の言葉に、「わたしもすごく刺激を受けました」と答える担任の武居先生。その会話を聞いて、「そういうことか」と思いました。この統合をきっかけに、目の前の扉を開けるのは子どもたちだけではないと。先生たちにとっても、これは子どもたちと共に自己を耕す機会なんだと感じたのです。この統合は、これからの子どもたちに、教師に、地域に、そして、この先の岡谷に光を照らすチャンスであることを、子どもたちの活動の様子から確信しました。



【『猛獣狩り』のレクを楽しむ三校の五年生】



【諏訪湖畔で、三校一緒にジャンケン列車】

裏面へ…

# 活動ダイジェスト

## 特別支援学級の三校交流会

4月23日(木)に、田中小のたんぽぽ学級、ひまわり学級、岡谷小のあかしあ学級、神明小のわくわく学級、すくすく学級、あおぞら学級との交流会を行いました。場所は岡谷小の北体育館とアスレチックです。季節は丁度、桜の頃です。山の高台にある岡谷小のアスレチックに足を踏み入れた田中小と神明小の子どもたちと先生方から、「うわあ～」と感嘆の声が漏れました。PTAの皆さんが脈々と手を入れて整備をしてきた魅力的なアスレチック施設、そして、そこから見下ろす岡谷小の学び舎と崖下に望む秀麗の諏訪湖に圧倒されての「こと」でした。交流会に参加した田中小のBくんは、「アスレチックは、はじめは怖くてなかなかできなかったけど、思い切って上に乗ってうれしかった」と活動を振り返っていました。また、先生方からは、「年度当初の早い時期で、大きな準備をして臨んだわけではなかったが、まずはやろうということで思い切ってやった。それがよかったと思う」という声を聞きました。今後、岡谷小の子どもたちが、それぞれの通うことになる田中小と神明小を訪れる機会も大切ですが、田中小と神明小の子どもたちも岡谷小に行き、岡谷小の自然と、そこに流れる雰囲気を感じることも、お互いの日常を知る上で大切なことだと感じました。

## 航空写真撮影

5月15日(金)の午前中、田中、岡谷、神明の三校で学校統合に伴う航空写真撮影を行いました。新聞報道にあったように、岡谷小では、「ありがとう」の人文字を子どもたちが作りました。田中小では、アヤメの校章を全校児童で形取りました。今回、撮影した写真はクリアファイルになります。家庭数でご家庭に配布します。楽しみにしてください。また、航空写真とセットで、その日の午後に全校児童と職員の集合写真も撮影しました。まじめな顔のバージョンやピースサインをしたバージョンなど、何枚かの写真を撮りました。こちらの出来上がりも楽しみです。今回の写真撮影は、小さな小さな行事です。しかし、このような「小さな一つ」を積み重ねることにより、子どもたちの気持ちが少しずつ統合に向かっていくのだと思います。小さな行事や何気ない日常を大事に大事に積み重ねていきたいと思っています。

## ◇連絡とお願い◇

### ○アヤメ定植整備作業について

今週末、5月23日(土)はPTA作業です。朝早い時間からのご参加、ありがとうございます。

さて、そのPTA作業の中に盛り込んだ環境整備に、アヤメの定植作業があります。作業箇所は、校門から校舎へ続く花壇、職員玄関に続く通路、校庭横のアヤメ園などです。この作業は、統合にあたり、田中小の象徴であり校章にもなっているアヤメの生育環境をよりよいものにしたという横内校長先生の願いに端を発したものです。そんな思いを市教委に持ちかけたところ、それは是非ともということで予算付けをしていただきました。また、この取り組みを学校統合推進委員会の際に説明したところ、岩本教育長(委員長)、薩摩林副委員長はじめ多くの委員のみなさんから、素晴らしい企画であるのご賛同をいただきました。先日、花の専門家であるグリーンバレーファームの鮎沢正浩さんにお越しいただき、アヤメの株分けと定植に関する指導をしていただきました。アヤメには様々な種類があるようですが、田中小に生息しているのは野に咲くアヤメでした。ほかにも花ショウブやカキツバタ、イチハツなど、野アヤメとは違った味わいのある種類があること、それらの生育には水を張った環境が必要だということなどを教わりました。そんな中、田中小で学んだ子どもたちが、みんな、アヤメの種類を見分けることができるアヤメ博士になったら素敵だなという思いも湧き上がってきました。そこで、この取り組みを新聞記事にしてもらい、花ショウブとカキツバタ、イチハツを株分けしてもらえるように地域に呼びかけました。有り難いことに、何件も問い合わせの連絡をいただき、花を分けていただける運びとなりました。学校では、係の米窪先生が、学校田の一部を開墾し、新たな種類のアヤメを植えることができるように準備しています。作業当日は短時間ですが、効率よく進めていきたいと思います。子どもたちの学習環境がより快適なものとなりますよう、ご協力、よろしく願います。

親も教師も学校も地域も、みんな子どもをよくしたいと願っています。そして、何より、子どもたち自身がよりよい自分でありたいと願っています。その中で、自己を思いやり他者を思いやり、多くの愛が行き交います。やはり、教育の根底は愛です。『星の王子さま』の作者、サン・テグジュペリは、「愛とは、お互いを見つめ合うことではなく、ともに同じ方向を見つめることである」と言っています。常に子どもと同じ岸に立って、子どもたちと共に対象を見つめていけるような、学校であり、地域であり、自身でありたいと思う次第であります。

# ありがとう 岡谷小

Hearts one 懐り

岡谷小学校統合企画通信  
平成27年6月5日(金)

No. 2 文責 竹内

## ありがとう岡谷小大運動会

晴れ渡る青空の下、5月30日(土)に、ありがとう岡谷小大運動会が開催されました。保護者の皆さんはもとより、地域・ご来賓の皆様、卒業生など、岡谷小学校の校庭にたくさんの方々が集いました。「先生、久しぶり」という声に振り向くと、あるお父さん(Nさん)がいました。お互い、再開を喜び合い、こんな会話をしました。

竹内：もう、子どもたち3人とも卒業したよね？

Nさん：とっくにね。でも、最後の運動会だからさあ。どうしても来ようと思ってね。さっき、校舎の写真を撮って回ってきたんだよ。なんかいろいろ思い出すよね。

竹内：今日、子どもたちは一緒に来ているの？

Nさん：来たがっていたんだけど、3人とも都合がつかなくてね。やっぱり、岡谷小の運動会はいいいね。〈後略〉

Nさんは、かつてPTAの副会長を務めてくださいました。また、それ以前から複数回環境委員を歴任し、PTA活動に携わってくださいました。当時、何度も岡谷小の敷地を回り、子どもたちが安全に活動できるように、どこを整備するか打ち合わせを重ねました。きっとNさんは、岡谷小の敷地を歩き、記念の写真を撮りながら、3人の我が子の小学校時代を思い出し、PTA活動を思い出し、その時の思い出に浸っていたのではないかと思います。この日、Nさんは、岡谷小最後の運動会に足を運んだことで、自身の中に刻み込まれている岡谷小が顕在化し、はっきりとした輪郭をもったものになっていったのではないのでしょうか。Nさんだけではなく、あの場に居た皆がそうだったように思うのです。

### これが岡谷小

右の2枚の写真は、同じ場面です。どの場面だと思えますか。これは、運動会の最後、閉会式で校長先生のお話を聞いている子どもたちの姿です。この日、たくさんの写真を撮影する中で、子どもたちの生き生きとした表情がフレームに入ってきました。組体操に代表される各学年の



表現運動然り、全力で走り切った徒競争やリレー然りです。しかし、その中のどのシーンよりも全身に電気が走ったのが、この場面でした。運動会が終わり、疲れ切っているはずの子どもたち。しかし、その目には力があり、表情には、やりきった満足感と、明日の自分への希望が満ち満ちているのです。これなんだと思えました。これが岡谷小の子どもたちなんだと。そして、子どもたちのこの姿がどこから来るのかと考えてみました。その答えは、先生方と子どもたちが織り成す日常にあると思うのです。

Hearts one 日誌(統合企画教員業務日誌)5月30日(土)より(一部抜粋)

その答えは日常の濃さである。真心と言ってもいい。真心のある日常が織り成されているからこそ、一遍一遍が濃いのである。その濃い日常の積み重ねの延長上に運動会がある。だから、行事が一過性の外向きな打ち上げ花火にならない。派手なパフォーマンスではなく、そこに一人ひとりの子どもたちと先生方の真心のこもった日常がしっかりと目に見える。だから、子どもたちの動きが、先生方の動きが、見る人の心を打つ。思いが伝わり、そこに居た一人ひとりにとっての「最後の岡谷小」が繋がっていく。そんなひと時だった。宮坂校長先生が慰労会の際に、「竹内さん、嬉しかったっつら」とおっしゃっていたが、本当にその通りである。この場に居られたこと、本当に本当に幸せに思う。

【チームの力で】アカシア日報(教頭先生が毎日作成し、先生方に配る、その日の日程や行事・諸会合などの予定を盛り込んだお便りです)6月2日(月)号より(一部抜粋)

土曜日の運動会ありがとうございました。チーム岡谷小の底力を目の当たりにいたしました。あの炎天下の中、大きなけがもなく(それでもちょこちょことしたけはあり、由紀先生は大忙しでしたが)やり抜いた子どもたち。また演技中・競技中の保護者のマナーの良さ。加えて、昨年度よりも人は多かったのですが、車での来校者の少なさ。トラックいっぱいで行ったPTA大玉送り。みんなで踊った岡谷踊り。当日の着ぐるみ、前日の広報車による宣伝活動…数え出したら切りがないほどのチーム岡谷の力でした。(言葉では言い尽くせませんが)全ての方々に、感謝、感謝、大感謝です。

裏面へ...

## 岡谷小のつながり

この日の最後の種目「岡谷踊り」にも地域間や世代間のつながりを見ることができました。



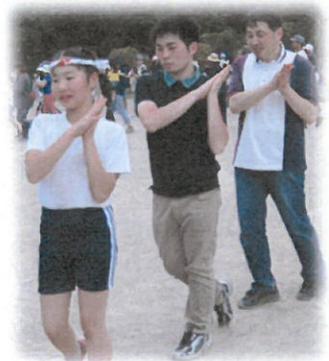
【孫とおじいちゃんまで】



【お父さん、お母さんと】



【家族三代一緒に】



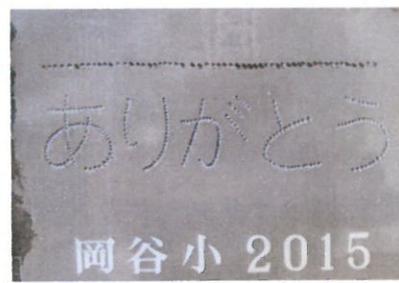
【卒業したお兄ちゃんと】

この時、この空間には、どれだけたくさんのつながりがあったのでしょうか。学級の子もたち同士のつながり、学年を超えた子どもたちとのつながり、先生方と子どもたちとのつながり、先生方同士のつながり、親と子のつながり、世代を超えた家族のつながり、親御さんと先生とのつながり、地域の方々と子どもたち・先生方とのつながり、地域と学校とのつながり、そして、142年という時の中で営まれてきた「もの」や「こと」や「ひと」のつながり。挙げ出せば切りがありません。ここには確かに、「チーム岡谷」がありました。そして、このつながりの中に在る「もの・ひと・こと」のすべてがチーム岡谷の一員であるように思いました。ここ岡谷小は単なる建物や場所としての学校ではなく、「人格をもった学校」なんだと実感しました。

## 活動ダイジェスト

### 航空写真撮影

5月15日（金）に航空写真を撮影しました。保護者のみなさんにも声をかけ、ご参加いただく中で、気持ちを添えていただきました。ありがとうございました。尚、この日は、田中小学校、神明小学校でも航空写真撮影を行いました。次回の参観日の際に、注文をとります。大切な思い出を刻んだ閉校記念となることでしょう。



### 閉校に向けての取り組み

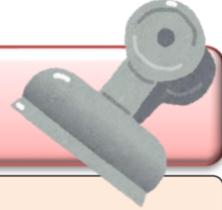
#### 【閉校行事实行委員会を開催しました】

- 第1回 閉校行事实行委員会 期日：4月28日（火）19：00～ 於>岡谷小学校会議室
  - ・三地区区長、歴代校長、教育総務課参事（オブザーバー）、歴代総務会、25年度、26年度、27年度総務、主任児童委員、統合企画教員、岡谷小職員を委員とした組織を構成し、委員長と副委員長を互選しました。委員長は原 宏さん、副委員長には堀内 勉さん、林尚孝さんが選ばれ、お受けいただきました。
  - ・「総務」、「記念誌」、「式典」、「思い出づくり」、「語る会」の5部会を組織し、各部長を中心に、11月28（土）の閉校式典に向けての推進計画を立てました。
- 第2回 閉校行事实行委員会 期日：5月21日（木）19：00～ 於>岡谷小学校会議室
  - ・閉校式典開催に伴う市の予算付けに関して統合企画教員より説明をしました。（記念誌や記念オルゴールなど、家庭の金銭的負担が生じないように市が予算をつけていく方向で考えてくれています。）
  - ・部会ごとに課題の洗い出しと準備計画を立てました。

#### 【連絡】

- ・今後、閉校式典のほかにも、閉校に向けての交流や学級での取り組みなどが行われていきます。その際、気をつけることとして、安全面に気を配ること、行事内容や活動内容が華美になり金銭面での負担がかかってしまうことがないように考えてまいります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## ～各部会からの報告～



### <仲間づくり交流部会>

■特別支援学級交流会や合同遠足など、これまでの部会で検討を重ねてきた交流の取り組みが実現し、交流の一步を踏み出すことができました。また、前回のPTA部会との合同会議で話があがった取り組みとして、PTAの交流に向けて、5/23に行われる岡谷小のPTA作業に、岡谷小のPTA役員から、田中小と神明小のPTA役員の皆さんをお誘いして、可能な限りの参加を働きかけていただいています。(→実施済み。)

今後も、部会の中でご意見を伺いながら、進めていきたいと思ひます。

### <通学・安全部会>

■今月、県道の安全対策についての協議を、県や警察などの関係機関と現地の立会いのもとで行う予定で、現在段取りを進めています。通学路の安全対策は、保護者の皆さんが最も心配されていることなので、できるだけ早めに協議し、こまめに情報をお伝えしていきたいと思ひます。

### <学校生活・児童ケア部会>

■これまでの部会において、主に「運動着」、「学用品」、「学校徴収金」、「児童ケア」の4点について協議を重ねてきました。様々な課題がありますが、一步一步地道に解決していきたいと思ひます。

### <式典部会>

■統合記念式典の開催に向けて、今後、3校の校長先生や市教委と協議を行うなかで、開催日時を決定していきながら、子どもたちの参加方法や式典の内容などのソフト面について検討し、それぞれの課題を拾い上げながら、進めていきたいと思ひます。

■また、現在、岡谷小学校で閉校記念式典の開催に向けての準備が動き始めています。宮坂校長先生から、実行委員会の立ち上げ、組織、現在までの取り組み状況などについての報告がありました。(閉校記念式典開催予定日：11月28日(土))

### <PTA部会>

■統合後のPTA組織・会則等の最終案を、4/18開催の各校のPTA総会において、保護者の皆様に報告させていただきました。お互いのPTA組織の良さを融合した形ができたと思っています。

保護者の皆様から、いくつかのご意見をいただきましたが、28年度の役員決めについては最終案に沿って進めさせていただき、いただいたご意見については、次年度の役員へ引継ぎ、よりよい組織づくりのための意見とさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

### <敷地活用部会>

■引き続き、市がコンサルに委託して進めている、岡谷小周辺敷地の安全対策に係る調査について、担当の建設水道部で調査内容の整理、精査を行っています。長いスパンの中での検討になりますが、できるだけ早めに部会に報告していきたいと思ひます。

### 【連絡事項】

◎どんなことでも構いませんので、ご意見・ご質問等がございましたら、お寄せください。



○第8回学校統合推進委員会は、7月上旬開催予定です。  
○学校統合推進委員会だよりや会議資料は、市のホームページに掲載していますのでご覧ください。

○教育委員会では、ホームページの更新情報などを皆様にお届けしたいと考えております。ご希望の方は、右記アドレスへメールを送信してください。ホームページを更新した際に、その旨をメールにてご連絡いたします。

### <ご意見・ご質問をお寄せください>

岡谷市教育委員会 教育総務課  
Tel：23-6925 (直通)  
Mail：okayasho@city.okaya.lg.jp  
HP：<http://www.city.okaya.lg.jp>

# 学校統合推進委員会だより

～魅力ある新たな学校をめざして～



## 3校の交流行事が本格スタート！

(第7回委員会報告)

5月11日(月)に第7回学校統合推進委員会を開催しました！

■第7回学校統合推進委員会は、新年度の教職員の人事異動や、PTA役員、区役員の任期終了に伴う役員変更により、新たな8名の委員さんをお迎えした新体制で開催しました。

はじめに事務局から、学校統合推進委員会の新体制についてと、教育委員会からの報告事項として、統合後の校名の決定と、校歌・校章の取り扱いについて説明しました。

次に、新委員で、今年度県教育委員会から岡谷市教育委員会に配属されました「統合企画教員」の竹内先生と小林先生から、4月7日(火)に行われた第3回3校合同職員会議の内容や、4月23日(木)に行われた3校の特別支援学級交流会、また5月1日(金)に行われた3校の合同遠足での子どもたちの様子などについて、報告がありました。

その他に、部会からの報告として、各部会長さんから現状の報告などがありました。

### 【教育委員会からの報告】～校名の決定について～

4月3日(金)に開催しました市定例教育委員会におきまして、平成28年度より、田中小学校を「岡谷田中小学校」に変更することが、正式に決定しました。これに伴い、今後市議会に、校名変更などを内容とした「学校設置条例」の改正案を上程していきます。

また、校歌・校章は、各学校が独自に定めるものであるため、統合後、学校や地域の思いが醸成された後、各学校において定めることとなります。その間、2つの校歌・校章を学校行事の中でどのように扱っていくかについては、学校と教育委員会で検討しています。

### 【3校の交流行事が行われました。】

晴天のなか、4月23日(木)に特別支援学級交流会が、5月1日(金)には合同遠足が行われました。

子どもたちの様子(特集：中ページ参照)と、委員さんから出されたご意見(下記参照)を掲載します。



### 【いただいたご意見の一部を紹介します。】

- 『親が心配するよりも、子どもたちは、楽しみな気持ちに変わってきているな、と感じています。子どもは柔軟に前向きに捉えている様子なので、親も負けたくないようにしたいと思います。』(保護者)
- 『28年の統合に向けて、全体的に着実に進んでいるな、という印象を受けました。』(区長さん)
- 『子どもたちの交流が大事なので、それを大分進めていただいているなと思いました。』(区長さん)
- 『遠足の写真を見て、素晴らしい企画だなと思いました。自分の子どもも、「他の学校の知り合いに会えて良かった」と言っていたし、子どもの方が環境適応能力がすごいので、親も見習わなければ、と感じました。』(保護者)
- 『親が心配するよりも、子どもは、すぐに慣れるのですごい。良い経験をしていると思います。』(保護者)

### <5/18(月)開催 学校生活・児童ケア部会が出された意見>

- 『子どもに遠足の感想を聞くと、「超、楽しかった!」と言って、親としても、とても安心しましたし、このような交流行事をまたやっていただければ、と思いました。』(保護者)
- 『親が思うよりも、子どもはしっかりしているし、頼もしいと思いました。』(保護者)

# 「遠足に行ってきました♪」

～子どもたちの交流の様子～



特集

## 【3校特別支援学級交流会】

場所: 岡谷小学校

## 【3校合同遠足】

1年生 場所: 鳥居平やまびこ公園

2年生 場所: 下諏訪あすなろ公園

3年生 場所: 下諏訪みずべ公園

4年生 場所: クリーンレイク諏訪

5年生 場所: 上諏訪立石公園



「いい湯だな、足湯♪」



「やまびこ公園の滑り台で遊ぶ1年生」



「みんなでハイチーズ☆」



「先生を探せ! やったぁ先生からサインゲット!」



「広がれ、交流の輪」



「みんなでじゃんけん列車!」



「名刺交換! よろしくお願ひします!」



「お弁当タイム!」



「わたしたちの諏訪湖 きれいだね!」



「白鳥丸にも乗ったよ 風がきもちいいね」

「当日は、天候にも恵まれ、最高の遠足日和でした。子どもたちの笑顔あふれる交流遠足となりました。このような活動を重ねていく中で、子どもたちの統合への不安が和らぎ、期待や希望が増していくことを願っています。そのためにも、子どもたちの目の前の日常を大切に紡いでいきたいと思ひます。」(第7回学校統合推進委員会:統合企画教員報告より)

## 第2回 閉校行事实行委員会

19:00~20:00 於：会議室

### 1 開会のことば

### 2 実行委員長挨拶

### 3 学校長挨拶

### 4 前回話し合われたことの確認

#### (1) 組織

**顧問** : 三地区区長、歴代校長 オブザーバー：市教育委員会（橋爪参事）

**総務** : 実行委員長（原宏さん）  
 実行副委員長（堀内勉さん・林尚孝さん）歴代総務会  
 （大池宏和）H27年度PTA会長（宮坂享）学校長  
 学校職員 ○教頭（田中）・教務主任（濱）・教務（茶木・曾根原・三澤）・酒井  
 ・校長・統合企画教員（竹内・小林）

**記念誌** : (◎H26小松さん・H25三村田さん・武居主任児童委員さん・H21園田さん)  
 学校職員 ○茶木・小林・河西・牛山・武田・柳澤

**式典** : (◎辰野さん・H25藤森さん・H26林慎太郎さん・早川さん・西田主任児童委員さん)  
 学校職員 ○濱・竹内・両角・片岡・松浦・花岡  
 閉校記念式典11月28日(土)

**思い出作り** : (◎H15塚田さん・S54笠原さん・H25林さん・26年別府さん・林主任児童委員さん・H22山岸さん・H23武居さん)  
 学校職員 ○三澤・(小林)・松澤・名取・高橋・笠原・教頭

**語る会** : (H27年度総務・学級厚生)  
 学校職員 ○曾根原・(竹内)・山本・田村・齋藤・(学童・調理員)

#### (2) 各委員会報告

(3) その他 ・次回（第3回）予定

### 5 小委員会に分かれて（小委員会ごと解散）

## 事業計画書

事業名	岡谷小学校閉校行事等開催
計画内容	内容等 閉校記念行事開催等に伴う実行委員会への市負担金 閉校記念誌、式典用記念品、郵送料、広告料、事務費等
	日程等 岡谷小学校閉校記念式典 11月28日(土)、会場 岡谷小学校 岡谷小学校閉校記念音楽会 10月30日(金)、会場 カノラホール 4月「閉校行事实行委員会」を組織、専門部会により準備

## 収支予算書

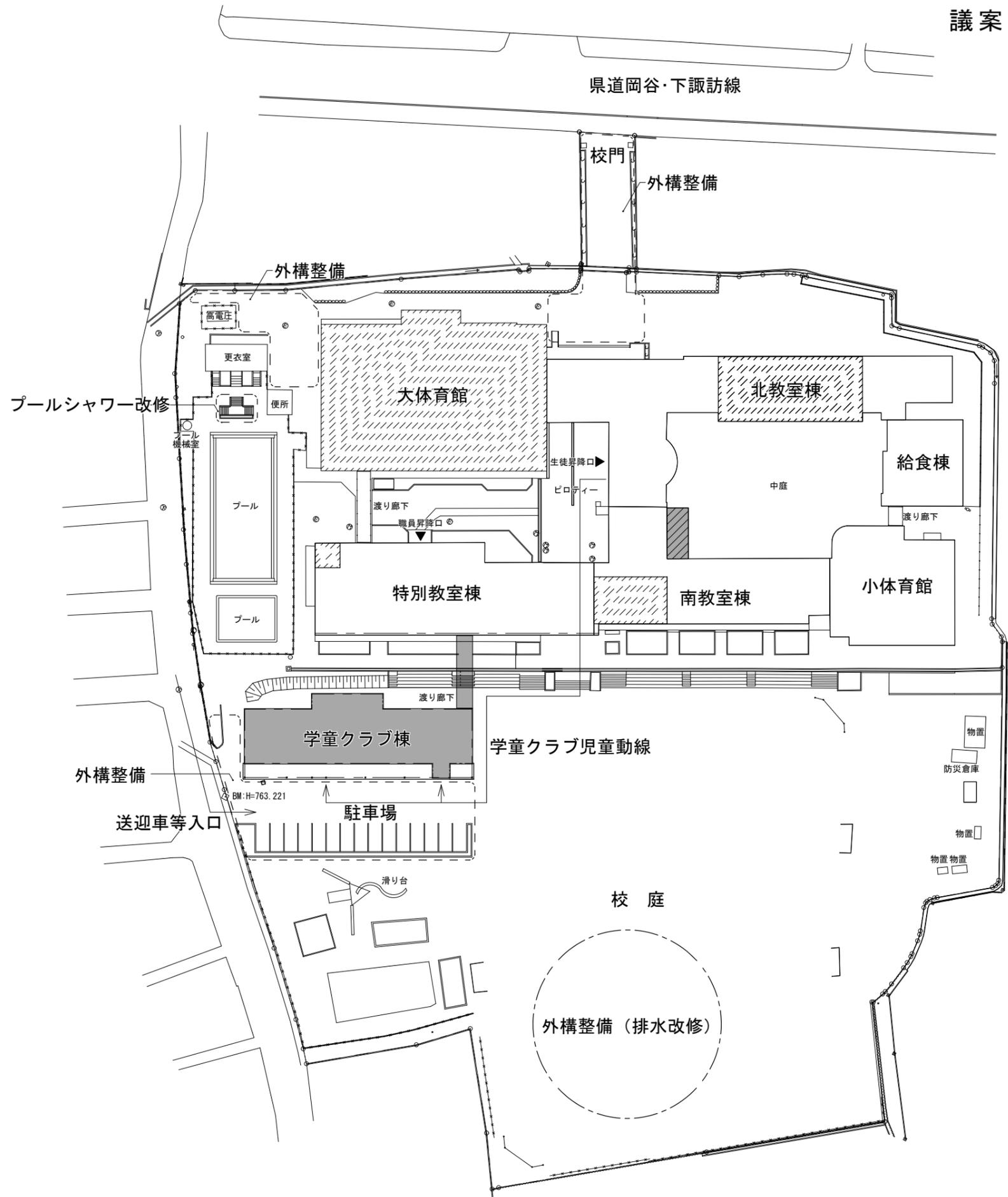
収入	項目	予算	内容
	PTA特別会計	565,000	周年積立金
	PTAバザー収入	365,000	過年度積立金
	PTA会費	100,000	
	記念誌等頒布収入	300,000	DVD2千円×150枚
	県補助金	330,000	オルゴールへの県補助(諏訪地方事務所林務課)
	市負担金	2,500,000	
	収入計	4,160,000	

支出	項目	予算	備考
(1)閉校記念式典			
	記念誌	1,944,000	160頁、450部作成(家庭、関係者贈呈用)
	記念DVD	572,400	200枚作成(150枚有償、50枚無償配布)
	式典パンフレット	75,600	200円×350枚×税「A3版、2つ折」
	クリアファイル	100,000	200円×500枚「A4版 記念航空写真」
	記念品(手ぬぐい)	110,000	300円×350本「ありがとう岡谷小」
	式典花代	20,000	
	横断幕	118,000	「ありがとう岡谷小」中校舎2F壁面掲示
	新聞広告	400,000	長野日報、市民新聞
(2)閉校記念音楽祭			
	楽器運搬	50,000	
(3)閉校記念品			
	オルゴール作成	600,000	300個「学校樹木を台座に作成」※県補助あり
(4)その他			
	修了証書印刷	50,000	3月学校閉校式にて全児童に贈呈
	雑費	120,000	郵送料、事務用消耗品、コピー代等
	支出計	4,160,000	

工事名：田中小学校増改築工事（建築工事）

工期：平成27年6月議決日～平成28年3月18日

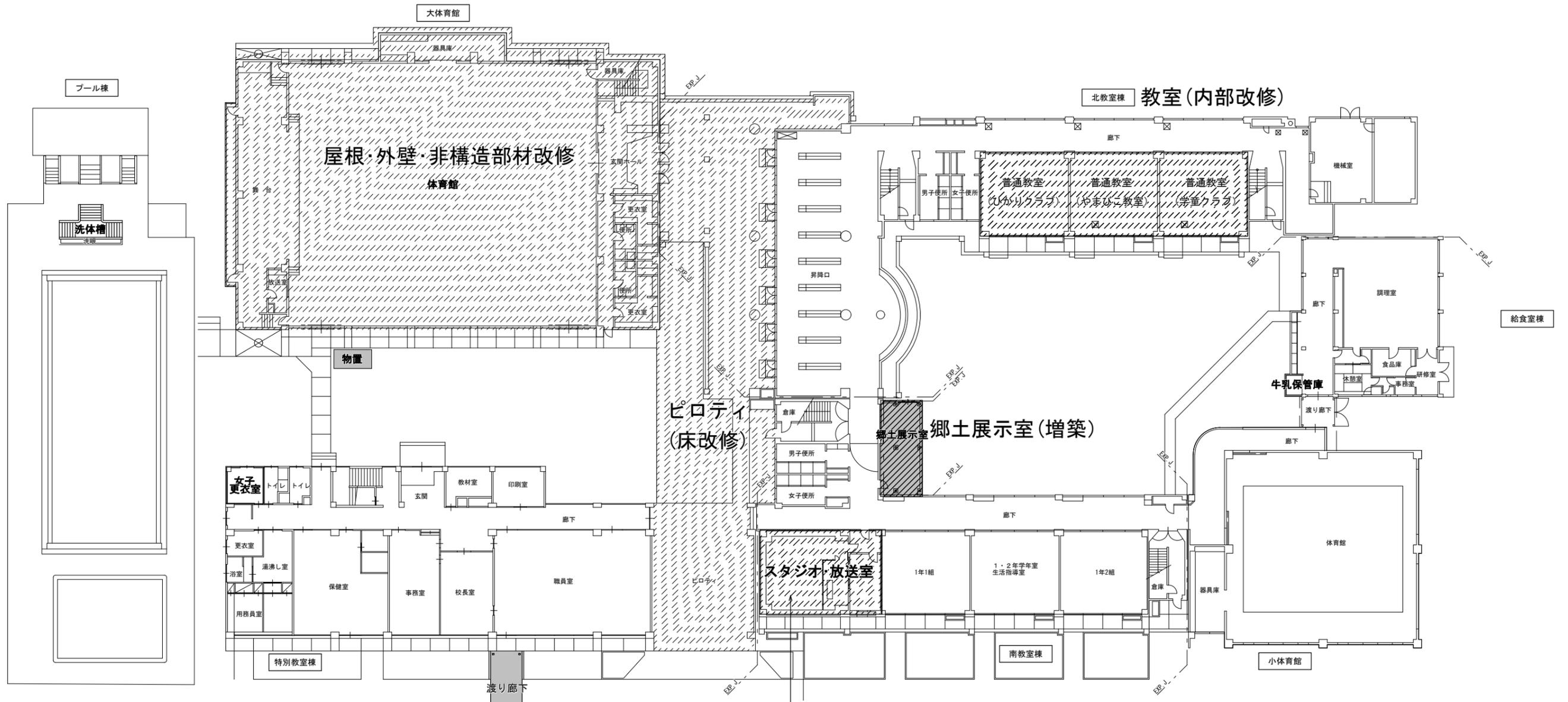
主な工事概要	
北教室棟	1F：既存教室改修
南教室棟	1F：郷土展示室増築 2F：特別支援教室改修
大体育館	非構造部材改修、外壁防水改修、屋根改修
学童クラブ棟	新築
ピロティー	床改修
校庭	排水改修
その他	駐車場整備 等



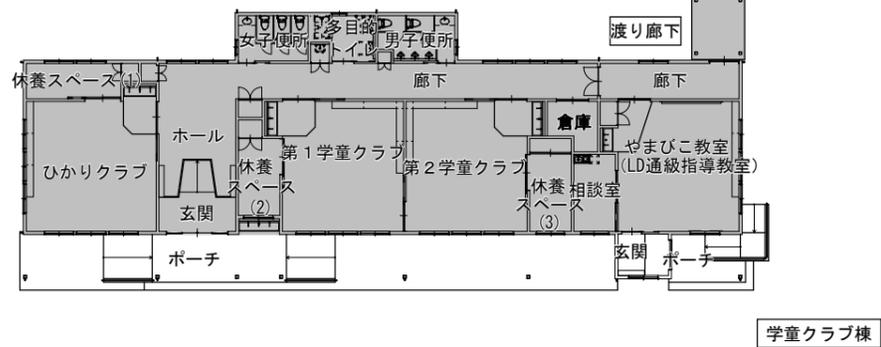
凡例

- 新築建物
- ▨ 既存建物増築
- ▤ 既存建物改修

配置図



2F：特別支援教室  
(内部改修)



- 凡例
- 新築建物
  - 既存建物増築
  - 既存建物改修

1階平面図